

金融トラブルから身を守るためのシンポジウム

金融庁と近畿財務局では、増加する金融商品・サービスを巡るトラブルについて、被害の発生や拡大を防止する観点から、一般社会人等を対象とした、基調講演、金融トラブルの相談事例の紹介及びパネルディスカッションを内容とする「金融トラブルから身を守るためのシンポジウム」を共同で開催しました。

開催概要

日時	平成 27 年 11 月 19 日(木) 13 時 30 分～15 時 50 分
内容	<p>第1部 基調講演「爆笑!!アホちゃいまんねん詐欺でんねん?! ～知らんとアカン! お金のコワ～イはなし～」 講師:いちのせ かつみ(ファイナンシャル・プランナー、生活経済ジャーナリスト)</p> <p>金融トラブルの相談事例紹介 説明者:金融庁政策課金融サービス利用者相談室 森田課長補佐</p> <p>第2部 パネルディスカッション コーディネーター: いちのせ かつみ (ファイナンシャル・プランナー、生活経済ジャーナリスト) パネリスト: 田村 康正 (弁護士) 市田 雅良 (大阪府金融広報委員会金融広報アドバイザー) 白崎 夕起子 (大阪府消費生活センター相談グループ長)</p>
場所	大阪国際交流センター 2階小ホール
主催	金融庁・近畿財務局
後援	内閣府・消費者庁・文部科学省・金融広報中央委員会 大阪府・大阪市・大阪府金融広報委員会

シンポジウムの模様

【第1部基調講演の模様】

関西を中心に噺家としてもご活躍されているいちのせかつみ氏から、「爆笑!!アホちゃいまんねん詐欺でんねん?!～知らんとアカン! お金のコワ～イはなし～」と題して、金融トラブルから身を守るためにはどのようなことを心がけるべきか、ご自身の体験談も交えながら、面白可笑しく講演をさせていただき会場は爆笑の渦に包まれました。

また、金融庁政策課金融サービス利用者相談室森田課長補佐からは、若者に多い金融トラブ

ルの事例を紹介し、金融商品に関することで少しでも不審に思った場合には、金融庁や財務局の相談室にご相談いただくようご案内をいたしました。

【第2部パネルディスカッションの様様】

いちのせかつみ氏をコーディネーターに、また、弁護士の田村康正氏、大阪府金融広報委員会金融広報アドバイザーの市田雅良氏、大阪府消費生活センター相談グループ長の白崎夕起子氏をパネリストに迎え、パネルディスカッションを行いました。

田村氏からは民事訴訟手続で金融トラブルの被害金額を取り戻すことの難しさなどについて、市田氏からは、うまい投資話などに安易に乗らないために自己の生活設計をきちんと立てることの重要性などについて、白崎氏からは高齢者に多い金融トラブルの事例紹介とともに、未然防止のための大阪府の取組などについてお話をいただきました。そしてコーディネーターのいちのせかつみ氏より、金融トラブルから身を守るためには人間は騙されやすい生き物と自覚するとともに、うまい話などが舞い込んだ時には自分だけで判断せずに周囲に相談することが何よりも大切とおまとめ頂きました。

【第1部基調講演の様様】

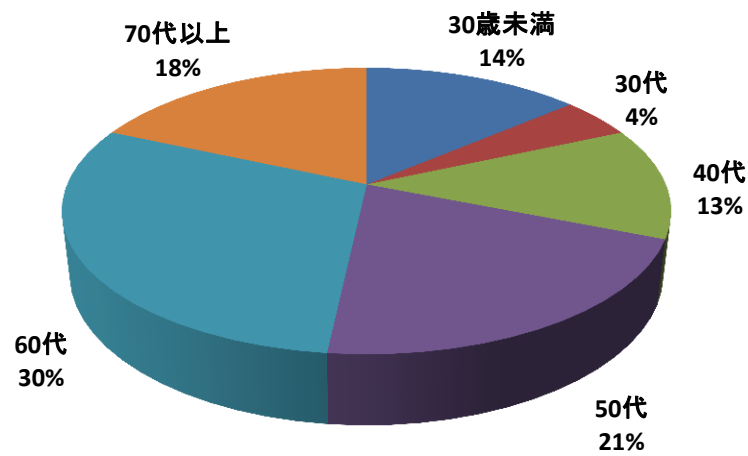


【第2部パネルディスカッションの様様】

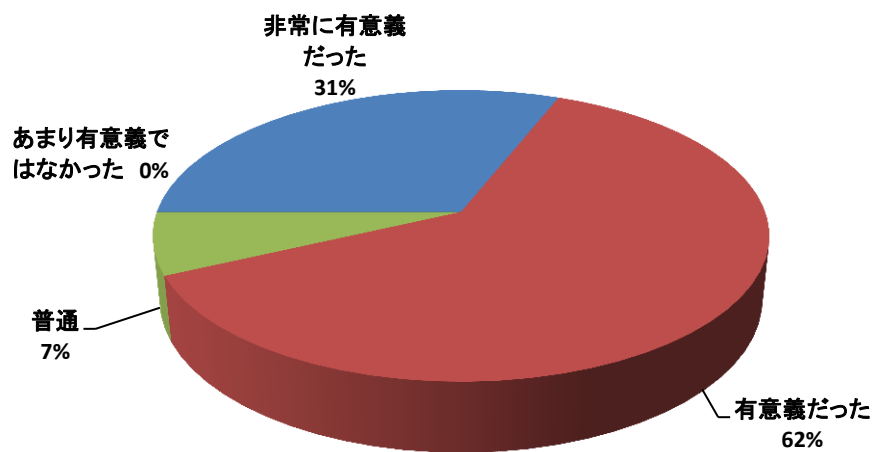


シンポジウムアンケート結果

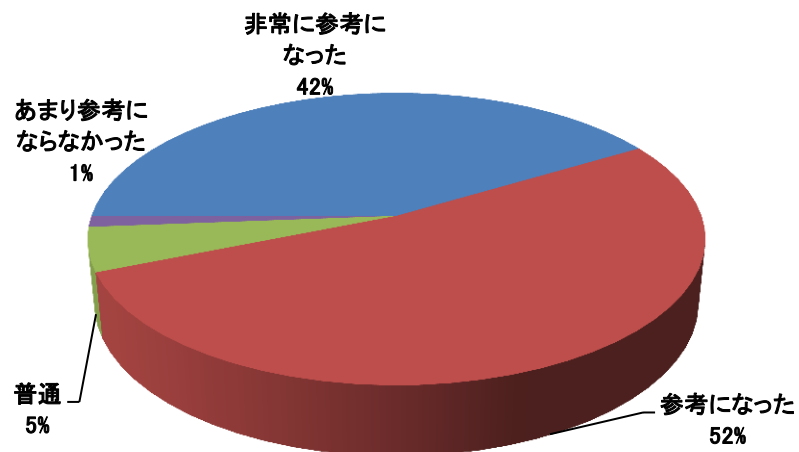
1. 年齢構成



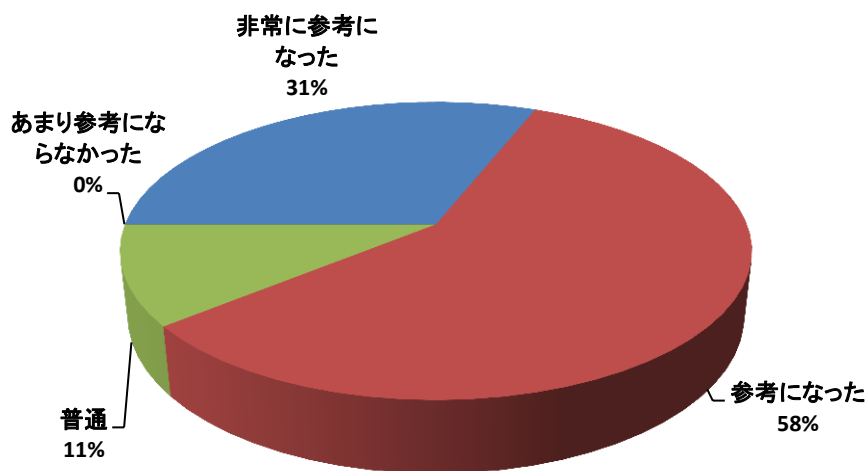
2. 本シンポジウムの全体構成について



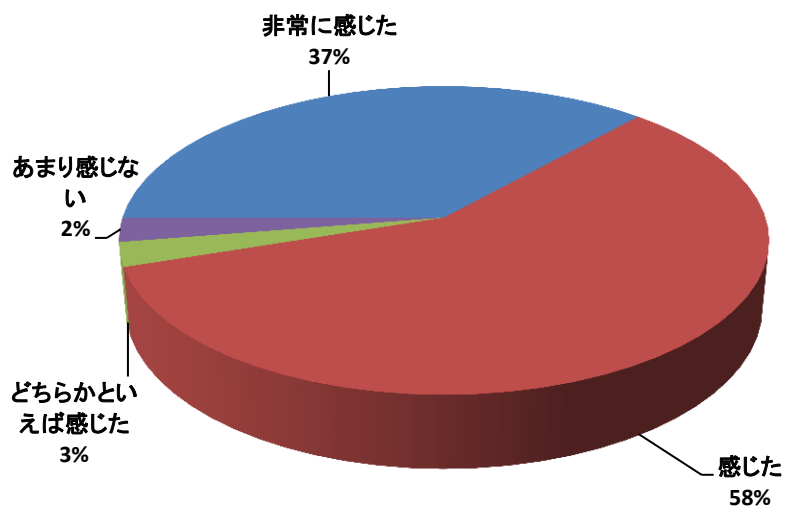
3. 基調講演の内容について



4. パネルディスカッションの内容について



5. 本シンポジウムに参加して、金融経済知識習得の重要性を感じたか



6. ご意見・ご感想

主なご意見・ご感想は以下の通りです。

- ・面白おかしく具体的な事例を交えたお話で楽しかった。日常生活で参考にしたいと思う。
- ・クーリングオフ制度について、できる場合とできない場合よくわかった。
- ・今と昔の金利の考え方に対するギャップがよくわかった。
- ・身近な話でよかった。特に笑いを入れ飽きさせない話術で大変良かった。
- ・実際に被害に遭われた事例の紹介もあり金融トラブルが身近に起こりうる怖さを実感した。

- ・詐欺行為については、巧みな手口で時間をかけて行われているので見破るのは大変だが、単独では判断せず、第三者に相談することが大切だと思った。
- ・三人の専門家からそれぞれの視点で、実際の事例や被害状況の話をお聞きすることができわかりやすかった。
- ・裁判でも被害回復がむずかしいことを弁護士の先生からお聞きしてリアリティがあった。
- ・金融に関する知識がなければ今後どのようにお金を利用していくかを考えることが難しいと学ぶことができた。
- ・金融トラブルは高齢者の方が多いと感じていたが我々若者も危機感をもつべきだと思った。
- ・まだ学生であるが、社会人になってからは金融機関や金融商品との関わりが強くなってくると思うので、金融に関する知見・知識を得ることができて良かった。